

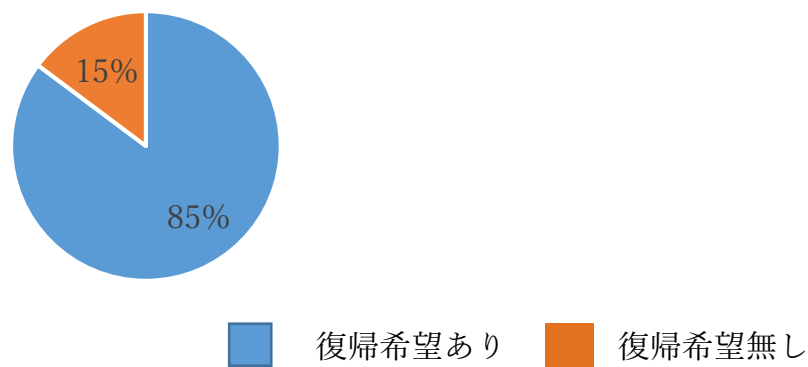
「潜在看護師に係る意識調査」を実施しました。

大阪府医療勤務環境改善支援センター（以下「勤改センター」という）では、大阪労働局、大阪府、大阪府ナースセンター（以下「ナースセンター」という）、と連携して令和元年11月に「潜在看護師に係る意識調査」を実施しました。

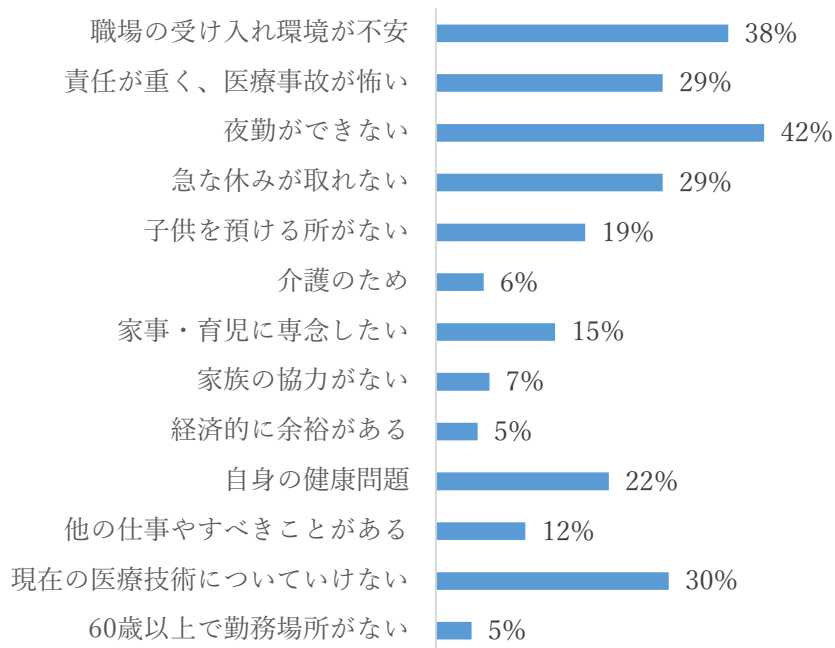
調査対象者はナースセンターがメールアドレスを把握している潜在看護師3,562名で、ナースセンターから対象者へメールで調査への協力依頼を行い、323名の方から回答を得ました。（回収率9.1%）

調査結果は別添のとおりですが、概要は以下のとおりです。

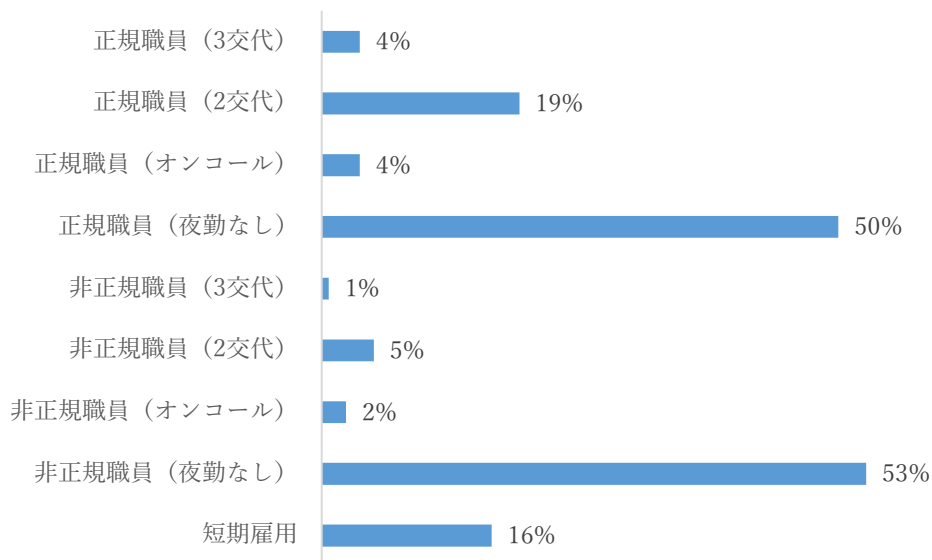
- ① 看護職への復帰を希望する方は85%と高い水準にあります。



- ② 復帰できない理由として、「夜勤ができない」、「職場の受け入れ環境が不安」、「現在の医療技術についていけない」などが多くあげられています。

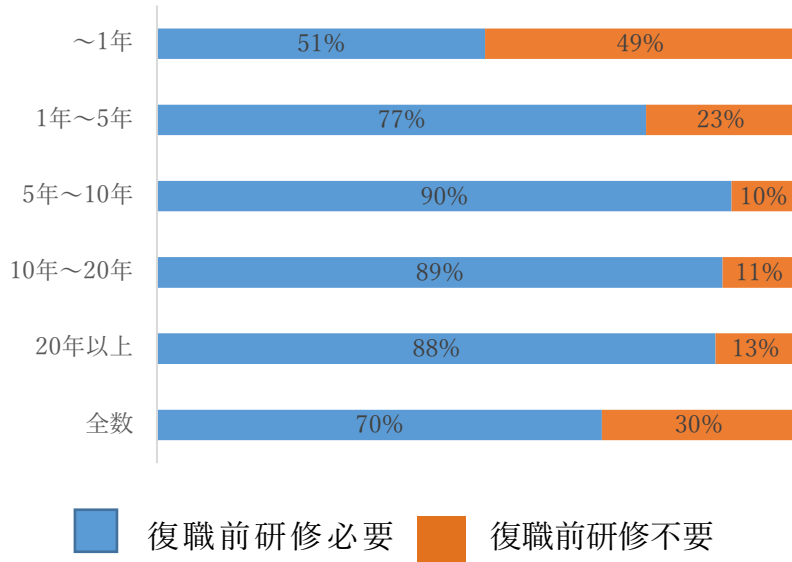


③ 希望する勤務形態は、「夜勤なし」の正規職員もしくは非正規職員が圧倒的に多いです。

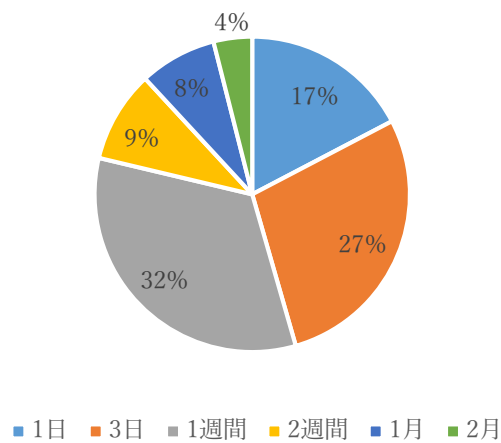


④ 復職前の研修は7割の方が必要としています。特に、離職期間が5年以上の方の9割前後が研修は必要としています。

離職期間



- ⑤ 復職前研修の期間は、1週間を希望する方が最も多く、次いで3日、1日の順となっています。



- ⑥ 潜在看護師の復職を進めるためには、子育て関連支援が必要だとする方が半数を超えています。

